

令和5年10月10日

HPをご覧の皆様へ

親和中学校・親和女子高等学校
校長 中村 晶平

学校評価 保護者アンケート報告について

長く厳しかった残暑もいつのまにか朝夕が涼しくなり、過ごしやすい日々となりました。本校保護者の皆様には、平素から本校の教育活動にご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。今春以降、新型コロナウイルス感染症が少しは収束してきたと感じられましたが、夏の終わり頃からはインフルエンザの流行が心配されています。今後の教育活動に支障が出ないことを願いつつ、新型コロナウイルス感染症の拡散時と同様にご留意いただき、感染防止対策を各ご家庭でも講じていただくようお願いいたします。

さて、在校生及び保護者の皆様の満足度向上を目的として、昨年度に引き続き今年度も7月に学校評価アンケートを実施いたしました。今年度の調査対象は中1から高3の保護者及び教員とし、各質問について選択肢から皆様の思いと合致する番号を選んでいただくとともに、自由記述欄も設けてご意見等もいただきました。

このたび、保護者及び教員のアンケート結果がまとまりましたので報告いたします。

なお、アンケート結果から浮き彫りとなった課題やいただいた自由記述のご意見等については、短期的対応が可能な課題は直ぐにでも対応し、中・長期的な対応が必用な課題は計画的に実施してまいります。ただ、多額な経費を伴うもの等については、研究を進めてまいります。

ところで、従来は保護者の方々から直接ご意見を伺う機会が少なかったために、学校側が気づかなかった課題も多々ありました。そこで、昨年度いただいたご意見の中で、対応できる課題は順次解決してまいりました。制度改革について、生徒指導面の対応、進路指導の充実、学級運営、施設の改修や充実等々、多くのご要望を承りました。今年度も直ぐにでも対応可能な課題は改善し、一度には解決できないものについては、徐々にでも解決に向けて対応してまいり所存でございます。

保護者の皆様にはご理解とご支援をお願いする次第でございます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。以下に、ご報告させていただきます。

2023 年度 学校評価アンケート(保護者・教員)報告

■ アンケート実施目的と実施概要

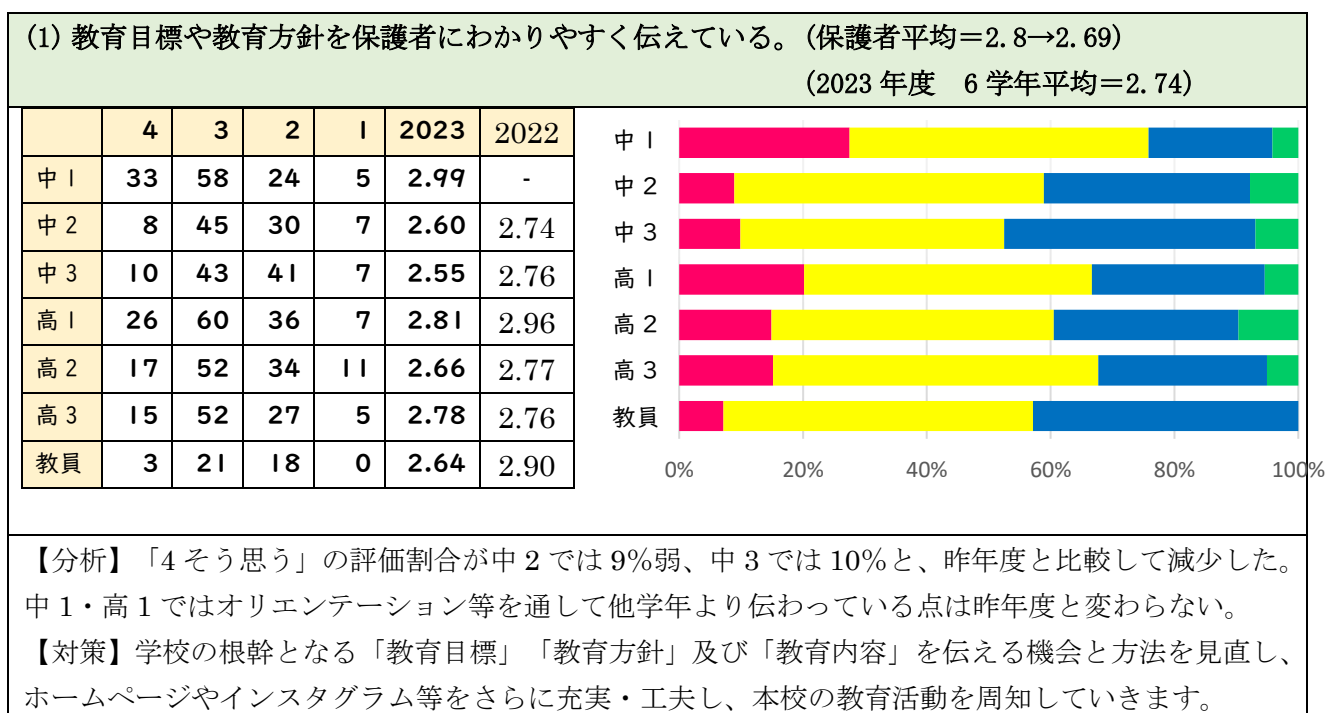
- ・実施目的 在校生保護者の満足度向上
- ・実施期間 保護者 2023 年 7 月 21 日(金)～31 日(月) 教員 ～8 月 10 日(木)
- ・調査対象 中 1 から高 3 までの在校生保護者および教員
- ・質問項目 20 問 (保護者と教員共通質問) 別途、教員限定質問 3 問

■ 回答者数・回答率

- ・回答数 中 1:120 人 中 2:90 人 中 3:101 人 高 1:129 人 高 2:114 人 高 3:99 人 教員:42 人
 - ・回答率 中 1:90.0% 中 2:64.7% 中 3:57.4% 高 1:70.5% 高 2:58.8% 高 3:56.3%
- * アンケート回収期間が昨年度より短期間となり、回収率が低くなってしまっている。

■ 各質問項目について

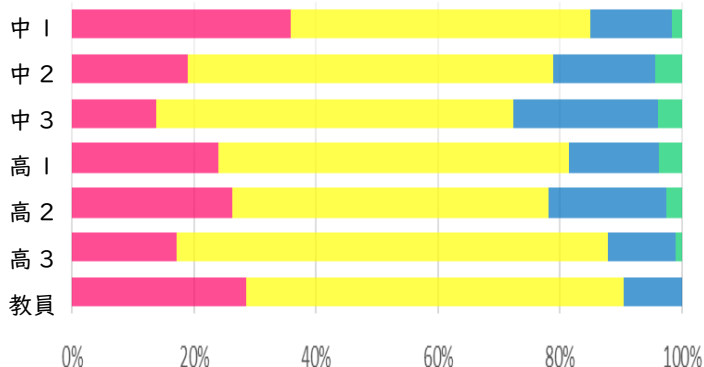
- ・選択肢は「4 そう思う 3 ほぼそう思う 2 あまりそう思わない 1 そう思わない」とした。点数としてとらえやすいように、昨年度の数值は今年度に合わせて換算比較している。
- ・昨年度は 5 月実施で、対象学年を中 1 を除く 5 学年としたため、() 内の保護者平均は 2022 年度→2023 年度の 5 学年平均の推移を表した。さらに今年度の 6 学年平均も示した。
- ・【分析】は、主に昨年度との比較を基準にした。



(2) 学校行事は充実している。

(保護者平均=2.9→2.97/2023年度 6学年平均=3.01)

	4	3	2	1	2023	2022
中1	43	59	16	2	3.19	-
中2	17	54	15	4	2.93	2.84
中3	14	59	24	4	2.82	2.81
高1	31	74	19	5	3.02	3.09
高2	30	59	22	3	3.02	2.79
高3	17	70	11	1	3.04	2.90
教員	12	26	4	0	3.19	3.14



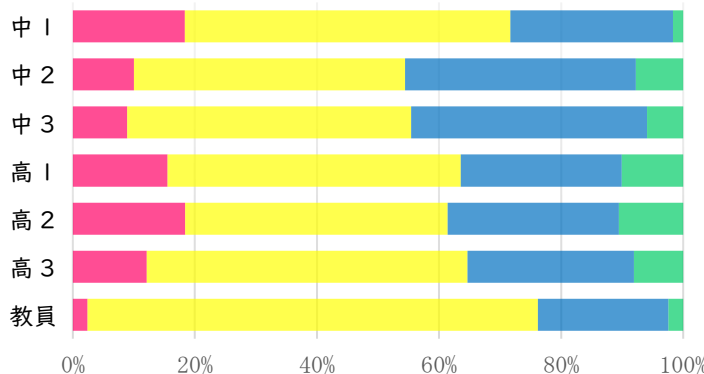
【分析】昨年度に比べ評価が若干上がっており、通常形態・規模での行事開催に移行していることへの理解が数値に表れている。

【対策】生徒に対して異なる問い方をしているので、単純比較はできないが、保護者の評価が上がっているのに反して、生徒の評価は若干低くなっています。行事の中心である生徒にとっては、体験内容での充実度が回答基準となるので、今後は行事内容のさらなる充実を目指していきます。

(3) 授業内容や進度は適切で、充実している。 *問いかけは若干変更

(保護者平均 2.6→2.65/2023年度 6学年平均=2.69)

	4	3	2	1	2023	2022
中1	22	64	32	2	2.88	-
中2	9	40	34	7	2.57	2.59
中3	9	47	39	6	2.58	2.60
高1	20	62	34	13	2.69	2.72
高2	21	49	32	12	2.69	2.45
高3	12	52	27	8	2.69	2.46
教員	1	31	9	1	2.76	2.81



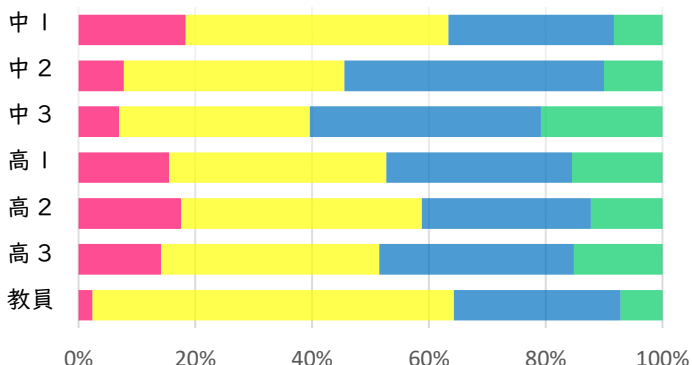
【分析】「4・3」の全体の評価割合が60%と、昨年度の57%から微増。その中で、「4」の高2での評価割合が7%増加している。

【対策】最終的な目標は、個々の希望にあった進路を実現することにあります。今年度から、個別面談や進路相談の機会を増やし、定期考査等のフォロー体制を変更しました。すべての生徒の実状に沿った指導体制の構築を目指し、今後も可能な対応策を考えていきます。

(4) 進路実現のための講習や補習が充実している。

(保護者平均=2.5→2.48/2023年度 6学年平均=2.53)

	4	3	2	1	2023	2022	
中1	22	54	34	10	2.73	-	中1
中2	7	34	40	9	2.43	2.55	中2
中3	7	33	40	21	2.26	2.51	中3
高1	20	48	41	20	2.53	2.68	高1
高2	20	47	33	14	2.64	2.39	高2
高3	14	37	33	15	2.51	2.36	高3
教員	1	26	12	3	2.60	2.73	教員



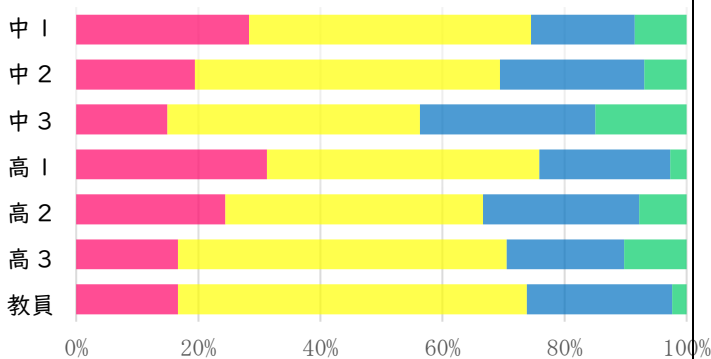
【分析】中3での評価が昨年度と比べ低くなっている。高3の「2・1」評価割合は昨年度より若干低くなった。

【対策】各学年における進路実現に向けた団塊的な方策の整備が必要と考えています。授業担当者を中心とした教科内での取組の連携にも努めてまいります。

(5) 学校の部活動は、活発で充実している。

(保護者平均=2.6→2.82/2023年度 6学年平均=2.84)

	4	3	2	1	2023	2022	
中1	30	49	18	9	2.94	-	中1
中2	14	36	17	5	2.82	2.52	中2
中3	13	36	25	13	2.56	2.61	中3
高1	35	50	24	3	3.04	2.67	高1
高2	22	38	23	7	2.83	2.51	高2
高3	13	42	15	8	2.77	2.69	高3
教員	7	24	10	1	2.88	2.66	教員

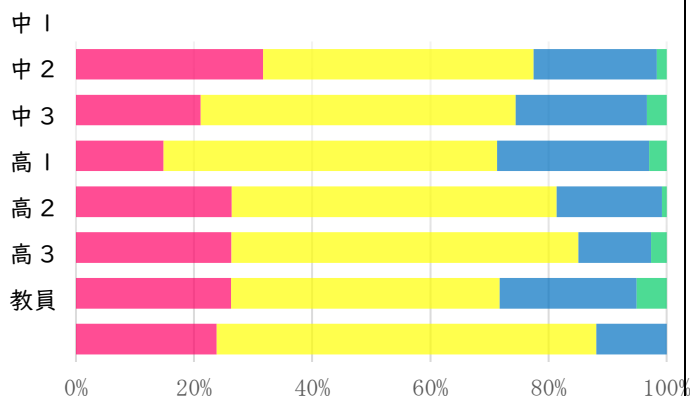


【分析】中1・中2・高1を中心に評価が昨年度より高くなっている。一方、中3の評価「1」の割合が高い。生徒の評価は6学年で大きな差は見られない。

【対策】昨年度いただきましたご意見に基づき、今年度より毎月活動予定をHPにアップしておりますが、さらにBlend、インスタグラム等を活用し、部活動の情報発信に努めてまいります。さらに「部活動内での連絡手段」、「顧問の活動への関わり方や言動」等の課題にも取り組んでまいります。

(6) 学校は、タブレットを活用した授業やデジタル教材等、ICT教育に力を入れている。
 (保護者平均=3.00→2.98/2023年度 6学年平均=3.00)

	4	3	2	1	2023	2022
中1	38	55	25	2	3.08	-
中2	19	48	20	3	2.92	3.02
中3	15	57	26	3	2.83	3.01
高1	34	71	23	1	3.07	3.09
高2	30	67	14	3	3.09	2.83
高3	26	45	23	5	2.93	2.85
教員	10	27	5	0	3.12	3.27

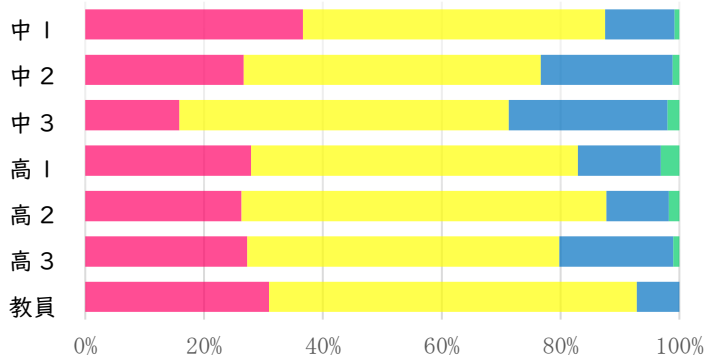


【分析】他校に比べてタブレットを持つ環境が整うのが早かったこともあり、どの学年も概ね良好な評価であったが、昨年度に比べ「4・3」評価割合が減少傾向にある。

【対策】高額な教材費支出にご協力いただき、学習の幅が広がり、生徒は有効活用できています。今後、保護者の皆様にもお伝えする機会を設けていきたいと思ひます。さらに、アプリケーションの精選や課題にも取組み、より有効な活用を目指して、研究を続けていく必要があると思ひます。

(7) 自習室、ラーニングコモンズルーム、イングリッシュルーム、図書館、実験室などの学習環境は充実している。
 (保護者平均=3.00→3.03/2023年度 6学年平均=3.07)

	4	3	2	1	2023	2022
中1	44	61	14	1	3.23	-
中2	24	45	20	1	3.02	3.01
中3	16	56	27	2	2.85	3.03
高1	36	71	18	4	3.08	3.10
高2	30	70	12	2	3.12	2.88
高3	27	52	19	1	3.06	3.00
教員	13	26	3	0	3.24	3.37



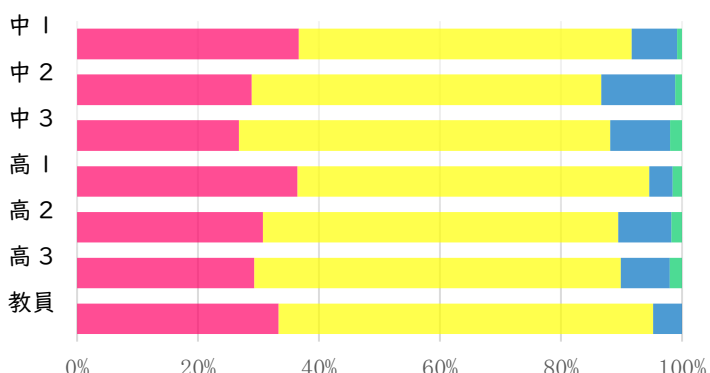
【分析】全体的に大きな変化はなく、どの学年も概ね良好な評価であった。

【対策】さらに利用しやすくなるように生徒の意見も取り入れていきたいと思ひます。

(8) 保健室、ゆうルームや食堂等、安全で健康的な生活環境が整っている。

(保護者平均=3.1→3.19/2023年度 6学年平均=3.21)

	4	3	2	1	2023	2022
中1	44	66	9	1	3.28	-
中2	26	52	11	1	3.14	3.07
中3	27	62	10	2	3.13	3.14
高1	47	75	5	2	3.29	3.17
高2	35	67	10	2	3.18	2.98
高3	29	60	8	2	3.17	3.14
教員	14	26	2	0	3.29	3.15



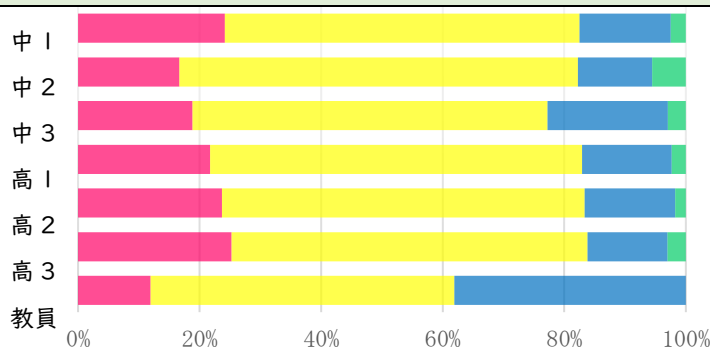
【分析】どの学年も概ね良好な評価であった。

【対策】今後も、保健室、ゆうルームの目的にそった運用を基本に考えていきます。

(9) 学校は防犯、防災、安全管理対策を適切に行っている。

(保護者平均=3.0→3.0/2023年度 6学年平均=3.01)

	4	3	2	1	2023	2022
中1	29	70	18	3	3.04	-
中2	15	59	11	5	2.93	2.97
中3	19	59	20	3	2.93	3.09
高1	28	79	19	3	3.02	3.07
高2	27	68	17	2	3.05	3.02
高3	25	58	13	3	3.06	2.98
教員	5	21	16	0	2.74	2.69



【分析】概ね良好な評価であったが、漠然とした安心感を抱いていることからの評価である可能性にも注視する必要がある。教員は防犯・防災・学校管理対策について保護者よりも不十分と考えている。

【対策】夜間におけるセコム管理体制を導入しました。日中の校内での防犯、防災、安全管理対策についても「危機対応マニュアル」を見直し、刷新しました。引き続き、防災訓練の適性実施、防犯に対する教員の意識づけ、学校設備の安全確認など、徹底して取り組んでまいります。

(10) 学校は、挨拶やマナー等、基本的な生活習慣について適切な指導を行っている。

* 問いかけは若干変更 (保護者平均 2.9→2.83/2023年度 6学年平均=2.85)

	4	3	2	1	2023	2022	
中1	28	60	23	9	2.89	-	中1
中2	14	50	21	5	2.81	2.91	中2
中3	13	51	30	7	2.69	2.86	中3
高1	23	71	32	3	2.88	3.07	高1
高2	27	55	29	3	2.93	2.84	高2
高3	18	51	25	5	2.83	2.88	高3
教員	0	12	26	4	2.19	2.31	教員

【分析】 評価基準が各人によって異なっていることやマナーに対する考え方も曖昧であるため、評価にばらつきが見られる。

【対策】 挨拶やマナーについては形だけでなく、その意義を客観的に知る機会を設け、校内では教職員が規範となる姿勢や態度を継続的に示すことが求められます。同時に、家庭環境での教育についても保護者に理解と協力をお願いし、協働意識をもった取組にしていきたいと考えています。

(11) 将来の生き方についてのキャリア教育が充実している。

* 問いかけは若干変更 (保護者平均=2.6→2.60/2023年度 6学年平均=2.62)

	4	3	2	1	2023	2022	
中1	15	58	44	3	2.71	-	中1
中2	5	32	44	9	2.37	2.50	中2
中3	5	38	43	15	2.33	2.46	中3
高1	20	60	45	4	2.74	2.73	高1
高2	20	54	34	6	2.77	2.56	高2
高3	13	50	29	7	2.70	2.53	高3
教員	0	27	15	0	2.64	2.75	教員

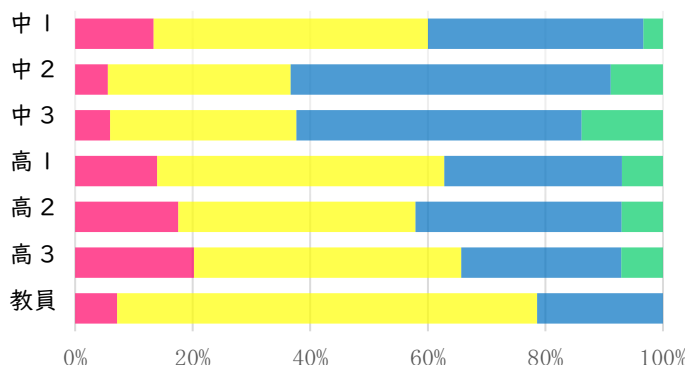
【分析】 保護者の評価に低い傾向が見られる。その一方で、高2 高3は昨年度より評価がかなり高くなった。この1年間の取組を他学年でも同様に引き続き行うことが、成果につながると考える。

【対策】 キャリア教育は、将来の進路を考えるために大変重要な進路指導です。中学段階では、様々な職業を持つ卒業生に協力を依頼し、やりがいや苦勞、家庭との両立、子育て等の話を聞き、10~20年後の自分を見つめる機会を持っています。高校段階では、社会人講演会の実施や、大学の学部学科説明会を行い、具体的な進路を探る機会を設定しています。今後も学年に応じた、具体的な方策を整備し、本校の「キャリア教育」の強化をはかっていきます。

(12) 将来の進路選択についての情報提供、相談対応や支援が充実している。

(保護者平均=2.5→2.57/2023年度 6学年平均=2.60)

	4	3	2	1	2023	2022
中1	16	56	44	4	2.70	-
中2	5	28	49	8	2.33	2.48
中3	6	32	49	14	2.30	2.35
高1	18	63	39	9	2.70	2.66
高2	20	46	40	8	2.68	2.43
高3	20	45	27	7	2.79	2.38
教員	3	30	9	0	2.86	2.98



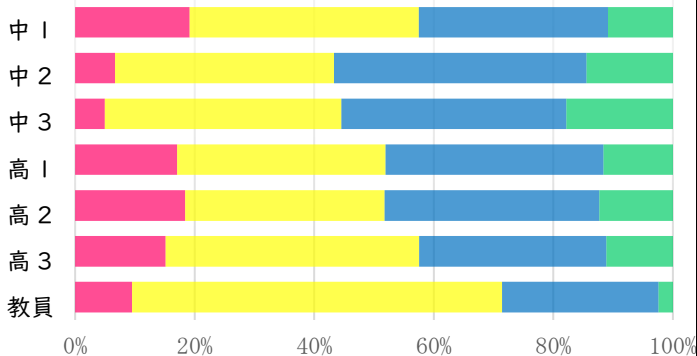
【分析】前項と同じく保護者からの評価は低いですが、高2高3の評価は前項以上に向上している。進路選択の要である学年の評価は心強い。個々に対応した支援を続けていくことが求められる。

【対策】前項目は学年全体に応じた取組ですが、進路選択のための情報が、個々の生徒に必要な時期に提供できているのかを検証する必要があります。意識形成に差はありますが、高校段階では、具体的な進路を決めて、必要な学力や見識を身につけることが求められます。学年担任だけでなく、学校全体で、一人ひとりの生徒に、適切かつ必要な支援を行うことが必要です。特に高2高3は、進路指導部中心に改善に向けた対策を講じていますので、引き続き、学校全体で強力にサポートできるよう取り組みます。

(13) 成績向上のためのアドバイスや受験指導が充実している。

(保護者平均=2.4→2.50/2023年度 6学年平均=2.53)

	4	3	2	1	2023	2022
中1	23	46	38	13	2.66	-
中2	6	33	38	13	2.36	2.45
中3	5	40	38	18	2.32	2.32
高1	22	45	47	15	2.57	2.55
高2	21	38	41	14	2.58	2.29
高3	15	42	31	11	2.62	2.25
教員	4	26	11	1	2.79	2.92



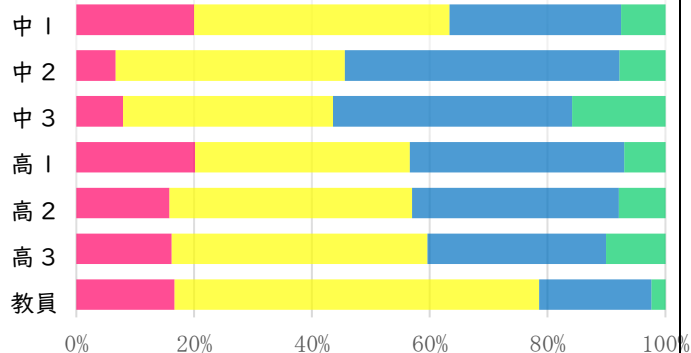
【分析】保護者の評価は低いですが、高2高3の評価は上がっている。前項目と同様に、個々の生徒に沿った指導やアドバイスの方法を学年まかせにせず、学校全体の取組という点から検証する必要がある。

【対策】アドバイスの内容を工夫し、頻度を増やすだけでは、現実的には成績向上は難しく、根本的な改善には至りません。個々の生徒の受動的態勢を少しずつ能動的方向に誘導していく継続的方策が必要です。進路指導部とともに改善に向けた対策を講じます。

(14) 教員は、生徒の学習意欲を引き出す努力をしている。

(保護者平均=2.6→2.57/2023年度 6学年平均=2.61)

	4	3	2	1	2023	2022
中1	24	52	35	9	2.76	-
中2	6	35	42	7	2.44	2.62
中3	8	36	41	16	2.36	2.59
高1	26	47	47	9	2.70	2.67
高2	18	47	40	9	2.65	2.53
高3	16	43	30	10	2.66	2.51
教員	7	26	8	1	2.93	3.14



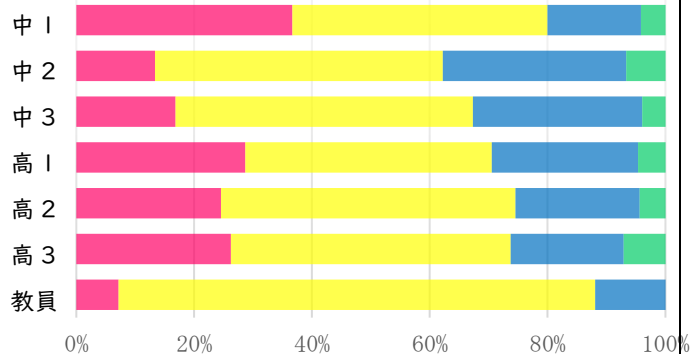
【分析】高2 高3 の評価は微増だが、改善の兆しが見える。保護者の評価を真摯に受け止め、個々の生徒の状況に沿った指導を展開する必要がある。

【対策】生徒からは勿論、保護者からの信頼を回復するためにも、生徒目線にたった効果的な指導を早急に研究し、改善に向けた対策をとってまいります。

(15) 担任や教科担当は、親身になって子どもと向き合い、対応してくれている。

(保護者平均=2.9→2.87/2023年度 6学年平均=2.92)

	4	3	2	1	2023	2022
中1	44	52	19	5	3.13	-
中2	12	44	28	6	2.69	2.92
中3	17	51	29	4	2.80	2.93
高1	37	54	32	6	2.95	3.01
高2	28	57	24	5	2.95	2.71
高3	26	47	19	7	2.93	2.86
教員	3	34	5	0	2.95	3.46



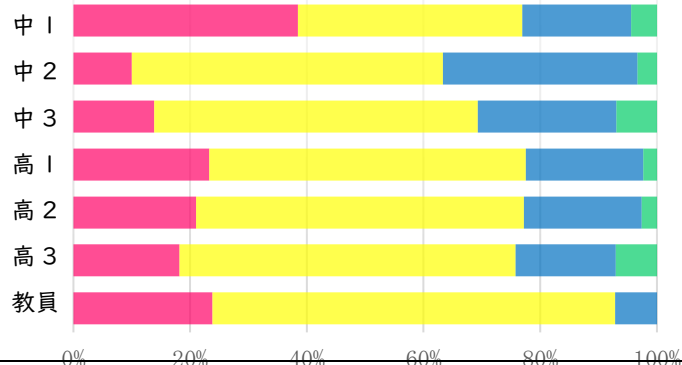
【分析】教員の評価と比べると、保護者の評価は低く、改善の必要がある。

【対策】懇親会や保護者面談を通して、生徒との日々の関わりを報告する機会を増やしていくとともに、生徒の言動や思いの変化をよりこまやかに汲み取っていけるよう、努めてまいります。

(16) 教員は、子どもの能力や努力を適切に評価している。

(保護者平均=2.9→2.83/2023年度 6学年平均=2.91)

	4	3	2	1	2023	2022
中1	35	35	17	4	3.11	-
中2	9	48	30	3	2.70	2.87
中3	14	56	24	7	2.76	2.94
高1	30	70	26	3	2.98	2.96
高2	24	64	23	3	2.96	2.83
高3	18	57	17	7	2.87	2.76
教員	10	29	3	0	3.17	3.12



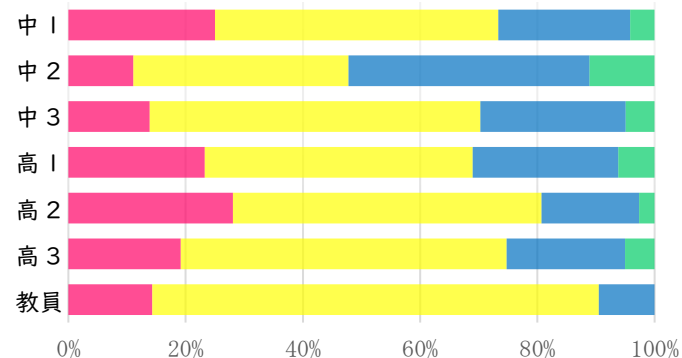
【分析】どの学年も概ね平均的な評価であるが、さらに高評価を得る必要がある。

【対応】生徒それぞれの能力を多面的にとらえ、取組む姿勢や努力を認め、評価できる点について丁寧に伝えていく必要があります。認められることが、さらなる意欲に繋がります。教員の姿勢が好循環に繋がることを意識して、引き続き、努力を続けてまいります。

(17) 学校の様子や学校からの情報は伝わっている。

(保護者平均=2.8→2.63/2023年度 6学年平均=2.85)

	4	3	2	1	2023	2022
中1	30	58	27	5	2.94	-
中2	10	33	37	10	2.48	2.73
中3	14	57	25	5	2.79	2.79
高1	30	59	32	8	2.86	2.88
高2	32	60	19	3	3.06	2.71
高3	19	55	20	5	2.89	2.75
教員	6	32	4	0	3.05	3.07



【分析】保護者の評価は、教員ほど高くない。まだ取組む余地があると考えます。

【対策】今年度、コロナ対応が変更となり、保護者懇談の機会を増やし、行事の体制もほぼ通常に戻しました。学校を取組や生徒たちの様子をみていただきたいと思います。さらに Blend、HP、インスタグラムを活用し、保護者への情報発信を充実していきます。

(18) 学校は、保護者や生徒の声を聞き、改善に努めている。(保護者平均=2.70) *昨年度と変更						
	4	3	2	1	2023	
中1	33	59	23	5	3.00	
中2	10	36	35	9	2.52	
中3	10	51	26	14	2.56	
高1	22	56	39	12	2.68	
高2	25	45	31	13	2.72	
高3	16	42	31	10	2.65	
教員	10	26	6	0	3.10	

【分析】 前項目と同様、保護者の評価は、教員程高くない。さらなる改善が求められる。

【対策】 この学校評価や授業評価でいただくご意見だけでなく、日常の生徒の声や育友会行事での保護者の声に耳を傾け、できることから改善してまいります。

(19) この1年間で子どもなりに成長したと感じている。 (保護者平均=3.0→3.11/2023年度 6学年平均=3.10)							
	4	3	2	1	2023	2022	
中1	35	58	23	4	3.03	-	
中2	22	51	13	4	3.01	3.01	
中3	22	54	16	9	2.88	3.10	
高1	40	72	13	4	3.15	3.08	
高2	47	54	11	2	3.28	2.88	
高3	33	55	10	1	3.21	3.11	

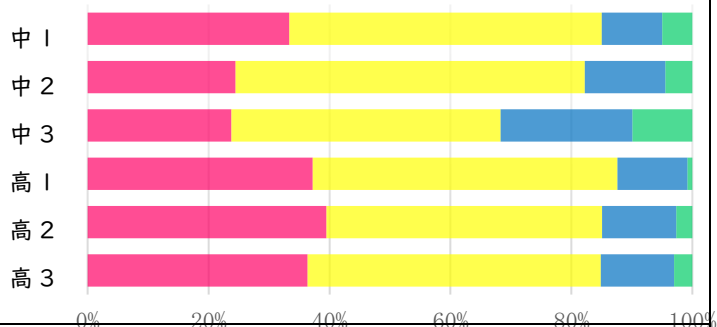
【分析】 昨年度と同様に、全体的に概ね良好な評価である。

【対策】 生徒一人ひとりの個性や多様性を尊重し、学校が生徒にとって大きな成長の場となるよう、継続的な教育支援を行ってまいります。

(20)子どもは充実した学校生活を送っている。

(保護者平均=3.0→3.11/2023年度 6学年平均=3.11)

	4	3	2	1	2023	2022
中1	40	62	12	6	3.13	-
中2	22	52	12	4	3.02	3.02
中3	24	45	22	10	2.82	3.04
高1	48	65	15	1	3.24	3.17
高2	45	52	14	3	3.22	2.94
高3	36	48	12	3	3.18	3.02



【分析】全体的に概ね良好な評価であった。

【対策】この数値は、保護者の満足度を表す指標です。学校生活が充実している生徒が多いとみられますが、進路に関する課題が改善されることにより、さらに評価が向上すると思われます。より一層の努力を続けてまいります。

HP をご覧の皆様へ

親和中学校・親和女子高等学校
校長 中村 晶平

学校評価 在校生アンケート報告について

長く厳しかった残暑もいつのまにか朝夕が涼しくなり、過ごしやすい日々となりました。本校保護者の皆様には、平素から本校の教育活動にご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。今春以降、新型コロナウイルス感染症が少しは収束してきたと感じられましたが、夏の終わり頃からはインフルエンザの流行が心配されています。今後の教育活動に支障が出ないことを願いつつ、新型コロナウイルス感染症の拡散時と同様にご留意いただき、感染防止対策を各ご家庭でも講じていただくようお願いいたします。

さて、在校生の皆さんの満足度向上を目的として、昨年度に引き続き今年度も7月に学校評価アンケートを実施いたしました。今年度の調査対象は中1から高3の在校生とし、各質問について選択肢から皆さんの思いと合致する番号を選ぶとともに、自由記述欄も設けて意見等もいただきました。

今年度も様々な意見等をいただいております。アンケート結果も含めたそれらについては、早急に回答すべきであるため、お知らせするよう準備を進めてまいりました。この度、在校生のアンケート結果がまとまりましたので報告いたします。

なお、アンケート結果から浮き彫りとなった課題やいただいた自由記述の意見等については、短期的対応が可能な課題は直ぐにでも対応し、中・長期的な対応が必用な課題は計画的に実施してまいります。ただ、多額な経費を伴うもの等については、研究を進めてまいります。

ところで、昨年度いただいた意見の中で、対応できる課題は解決してまいりました。従来は直接生徒の皆さんから意見を伺う機会が少なかったために、学校が気づかなかった課題も多々ありました。今年度もそれら課題は一度には解決できないものの、徐々にでも解決可能なことは対応してまいります。取り急ぎ、以下に報告させていただきます。

2023 年度 学校評価アンケート(生徒)報告

■ アンケート実施目的と実施概要

- ・実施目的 生徒の満足度向上
- ・実施期間 2023 年 7 月 7 日(金)～20 日(木)
- ・調査対象 中 1 から高 3 までの生徒全員
- ・質問項目 20 問 * 中学と高校で問い方を変えている質問や保護者アンケートおよび教員アンケートと共通質問もある。

■ 回答者数・回答率

- ・回答者数 中 1 : 103 人 中 2 : 120 人 中 3 : 143 人 高 1 : 162 人 高 2 : 177 人 高 3 : 160 人
- ・回答率 中 1 : 76.9% 中 2 : 85.7% 中 3 : 80.8% 高 1 : 88.5% 高 2 : 90.8% 高 3 : 90.9%

■ 各質問項目について

- ・選択肢は「4 そう思う 3 ほぼそう思う 2 あまりそう思わない 1 そう思わない」とした。点数としてとらえやすいように、昨年度の数値は今年度に合わせて換算比較している。
- ・平均表記は 2022 年度→2023 年度 としている。
- ・【分析】は、主に同学年の昨年度との比較を基準にしている。

1. 中学：本校の校訓を意識し行動している。(中学平均=2.82→2.74)						
高校：本校の教育目標、教育方針を理解している。(高校平均=2.86→2.65)						
2023 年度	4	3	2	1	平均	2022
中学 1 年	21	60	20	2	2.97	3.06
中学 2 年	19	69	27	5	2.85	2.63
中学 3 年	15	56	42	30	2.39	2.78
高校 1 年	20	99	41	5	2.81	2.95
高校 2 年	28	76	58	15	2.66	2.83
高校 3 年	20	64	51	25	2.49	2.81

【分析】 中学と高校で異なる問い方をしているので単純比較はできないが、「2・1」の評価割合が、中 3 は 50%（昨年度中 2 段階では 40%、昨年度中 3 は 30%）、高 2・高 3 は 40%（昨年度はいずれも 30%）と 1 割を超えての増加傾向。

【対策】 中 2・中 3 に対して校訓を意識した行動を促す機会を、高 2・高 3 に対しては教育目標、教育方針を明確に伝える場を設ける必要がある。

2. 中学：本校の学校行事は充実しており、多様な経験や体験ができる。(中学平均=3.26→3.14)
 高校：本校の学校行事は充実しており、将来に役立つ経験や体験ができる。(高校平均=3.00→2.74)

2023年度	4	3	2	1	平均	2022	
中学1年	63	37	3	0	3.58	3.58	中1
中学2年	43	54	20	3	3.14	3.04	中2
中学3年	24	68	37	14	2.71	3.17	中3
高校1年	28	100	32	5	2.92	3.01	高1
高校2年	26	77	60	14	2.65	2.99	高2
高校3年	22	76	46	16	2.65	3.00	高3

【分析】中1の満足度は昨年度と同様に高い。一方、高2・高3の「2・1」評価割合が、高2は40%・高3は40%弱(昨年度はいずれも20%)と増加。通常形態・規模での行事開催に移行しているにもかかわらず評価が低い。問い方(将来に役立つ経験や体験)は昨年度と同じであることから影響はないと思われる。学校行事に対する関心の低下も影響していると思われる。

【対策】学校行事に対する関心を高め、能動的に取り組む姿勢を養うためにも、早めの計画や段階的な公示の必要性がある。また、教員を通じ学校行事の意義を再周知することも重要である。

3. 授業の進度や内容は適切で、進路実現に必要な学力が身につく。(平均=2.92→2.78)

2023年度	4	3	2	1	平均	2022	
中学1年	38	53	11	1	3.24	3.35	中1
中学2年	29	66	21	4	3.00	2.91	中2
中学3年	11	73	40	19	2.53	2.98	中3
高校1年	21	94	47	3	2.81	3.01	高1
高校2年	26	82	57	12	2.69	2.74	高2
高校3年	15	60	59	26	2.40	2.54	高3

【分析】「2・1」評価割合が、中3から高2にかけて増加傾向にある。昨年度と比較すると、中3は2倍増、高1・高2ともに1割の増加。「進路実現に必要な学力」についての捉え方の変化や「進路」についての自らの指標が明確になっていないことも要因の一つとなっている可能性もある。

【対策】「2・1」と回答した生徒の学習状況や成績を分析し、進路実現に必要な学力差について、個々の状況にあった対策を敷くことが求められる。また、中3で自分の進路目標をよりしっかりと持たせる機会を段階的に設ける必要がある。

4. 探究学習や授業等で、思考力・判断力・表現力が身につく。(平均=2.86→2.86)

2023年度	4	3	2	1	平均	2022	
中学1年	52	40	11	0	3.40	3.19	中1
中学2年	29	67	23	1	3.03	2.64	中2
中学3年	10	72	38	23	2.48	2.79	中3
高校1年	30	96	30	9	2.89	3.05	高1
高校2年	36	88	41	12	2.84	2.79	高2
高校3年	15	73	49	23	2.50	2.72	高3

【分析】昨年度と問い方を変えたが、全体的な数値の変化は見られない。「1」の評価割合が中2・中1では減少傾向にある一方、中3では「1」は3倍増、「4」は半減している。

【対策】自身についた力を自覚できる機会を定期的に設ける等、意欲増進の場を増やす必要がある。

5. 適切な量と質の課題・宿題が課されている。 (平均=2.71→2.65)

2023年度	4	3	2	1	平均	2022
中学1年	23	46	21	13	2.77	2.84
中学2年	21	44	42	13	2.61	2.76
中学3年	17	61	38	27	2.48	2.84
高校1年	32	83	39	10	2.84	2.79
高校2年	30	78	51	18	2.68	2.49
高校3年	21	63	50	26	2.49	2.58

【分析】高2・高1において「2・1」ともに評価割合がそれぞれ10%割増加している。年間を通しての課題の計画性や教科間の連携・調整が昨年度からは是正されていないことが伺える。また、観点別評価導入も課題の増加傾向を助長している可能性もある。

【対策】教員が課題の意義・目的を改めて確認するとともに、学年・教科内それぞれでの状況を把握する総括的役割を担う人員配置の必要がある。

6. 中学：学習意欲を高める授業が充実している。 (中学平均=2.99→2.83)
 高校：進学対策の講習、学力定着のための補習が充実している。(高校平均=2.74→2.77)

2023年度	4	3	2	1	平均	2022
中学1年	35	56	9	2	3.22	3.33
中学2年	27	58	28	7	2.88	2.77
中学3年	11	59	48	25	2.39	2.90
高校1年	22	97	33	12	2.79	3.09
高校2年	37	85	47	8	2.85	2.66
高校3年	20	65	51	24	2.51	2.50

【分析】「4」の評価が、中3は約1/3、高1は1/2に減少。一方、高3は約3倍増となっている。「2・1」の評価割合がどの学年でも大きいことは昨年度から変わらない。

【対策】中学では学ぶことの意義を伝え、生徒が学ぶ楽しさを実感できるような授業づくりに力点を置くなど、教員による教材へのアプローチ方を再検討する必要がある。高校では講習・補習計画が慣例的なものにならないよう、実態にともなった見直しや整理が求められる。

7. 学校は部活動に活発に取り組んでいる。 (平均=3.20→3.16)

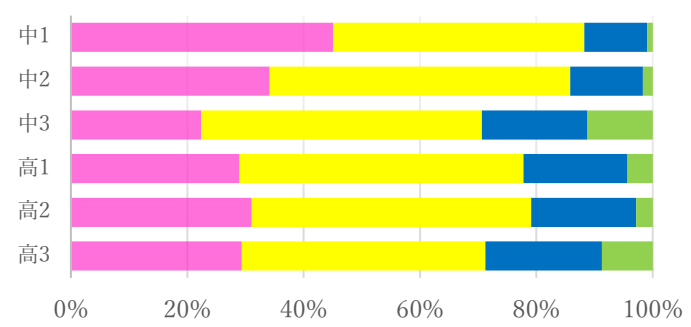
2023年度	4	3	2	1	平均	2022
中学1年	67	22	8	5	3.48	3.37
中学2年	54	50	10	6	3.27	3.12
中学3年	38	71	19	15	2.92	3.13
高校1年	66	72	16	8	3.21	3.31
高校2年	61	74	27	15	3.02	3.13
高校3年	52	75	19	14	3.03	3.15

【分析】全体的に大きな変化は見られない。

【対策】学校として部活動における意義・目的を共有するとともに、生徒の活動におけるサポート体制としての協働意識を持ち続けることが求められる。

8. 中学：タブレットや電子機器を使った授業、アプリ学習はわかりやすく力が身につく。 3.18→3.11
 高校：タブレットや電子機器を使った授業、デジタル教材はわかりやすく進路実現に必要な力が身につく。3.07→3.00

2023年度	4	3	2	1	平均	2022
中学1年	46	44	11	1	3.32	3.46
中学2年	41	62	15	2	3.18	3.11
中学3年	32	69	26	16	2.82	2.97
高校1年	47	79	29	7	3.02	3.21
高校2年	55	85	32	5	3.07	3.04
高校3年	47	67	32	14	2.92	2.97

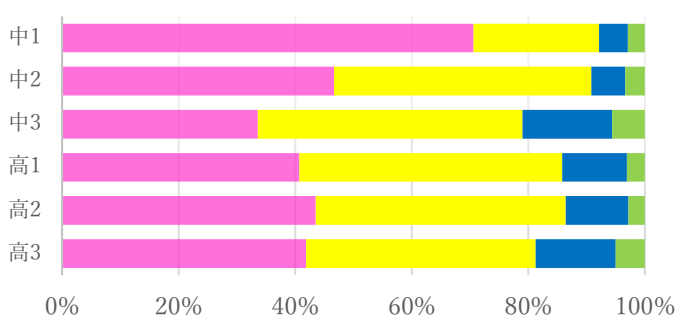


【分析】全体的に大きな変化は見られない。小学校での経験もあり、大きな躊躇感につながらないことが背景にあると思われる。

【対策】iPadを使用する場合と直接対話での場合の有効性を整理し、便宜性だけを目的とした使用に偏らないような取り組みが求められる。

9. 自習室、ラーニングコモンズ、イングリッシュルーム、図書館など学習環境は整っている。(平均=3.41→3.28)

2023年度	4	3	2	1	平均	2022
中学1年	72	22	5	3	3.60	3.64
中学2年	56	53	7	4	3.34	3.41
中学3年	48	65	22	8	3.07	3.34
高校1年	66	73	18	5	3.23	3.48
高校2年	77	76	19	5	3.27	3.32
高校3年	67	63	22	8	3.18	3.28

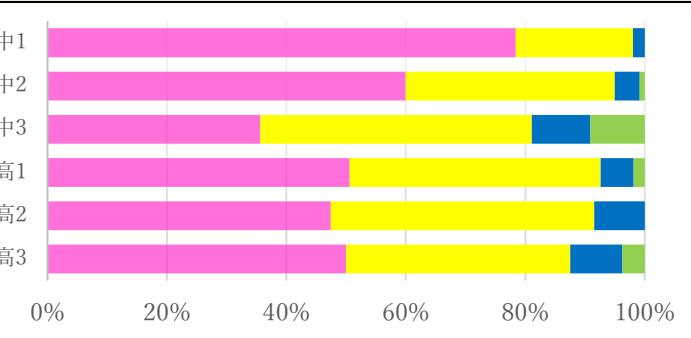


【分析】全体的に大きな変化は見られない。

【対策】環境改善のために、今後は、利用者に直接声掛けをし、詳細把握に努めていきたい。

10. 保健室、ゆうルームや食堂等、安全で健康的な生活のための環境は整っている。(平均=3.44→3.42)

2023年度	4	3	2	1	平均	2022
中学1年	80	20	2	0	3.76	3.67
中学2年	72	42	5	1	3.54	3.48
中学3年	51	65	14	13	3.08	3.41
高校1年	82	68	9	3	3.41	3.43
高校2年	84	78	15	0	3.39	3.30
高校3年	80	60	14	6	3.34	3.34



【分析】全体的に大きな変化は見られない。

【対策】9.と同様に環境改善のために、今後は、利用者に直接声掛けをし、詳細把握に努めていきたい。

11. 学校は防犯、防災、安全管理対策を適切に行っている。(平均=3.15→3.11)

2023年度	4	3	2	1	平均	2022
中学1年	52	39	10	1	3.39	3.45
中学2年	50	57	11	2	3.29	3.04
中学3年	27	75	24	17	2.78	3.22
高校1年	48	91	17	6	3.12	3.13
高校2年	54	83	34	6	3.05	2.98
高校3年	53	72	25	10	3.05	3.13

【分析】全体としては昨年度とほぼ同様である。

【対策】防災訓練の適切な実施や防災教育をさらに徹底して行っていきたい。

12. 将来の進路選択についての情報提供、指導や相談対応は充実している。(平均=3.07→2.94)

2023年度	4	3	2	1	平均	2022
中学1年	37	51	11	3	3.20	3.24
中学2年	29	65	23	3	3.00	2.89
中学3年	13	83	31	16	2.65	3.08
高校1年	38	100	19	5	3.06	3.21
高校2年	39	87	43	8	2.89	3.11
高校3年	37	75	33	15	2.84	2.91

【分析】中3の「4」評価人数が他学年に比べて低いが、「4・3」を合せると大きな違いはない。

【対策】中3の状況把握に努め、学習や進路目標を明確にするサポートに取り組む必要がある。

13. 成績向上のためのアドバイス、学習面についての指導や相談対応は充実している。(平均=3.02→2.88)

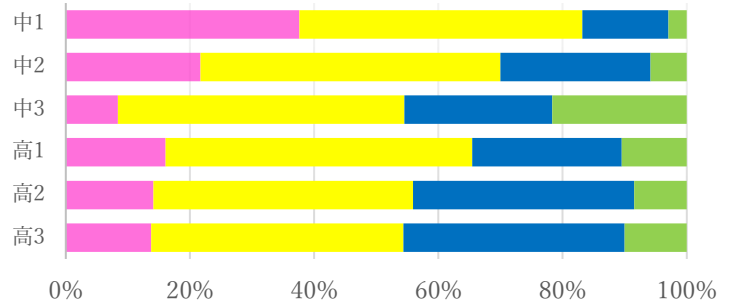
2023年度	4	3	2	1	平均	2022
中学1年	40	48	13	1	3.25	3.33
中学2年	32	61	23	4	3.01	2.94
中学3年	14	72	38	19	2.57	2.94
高校1年	31	100	22	9	2.94	3.12
高校2年	34	87	45	11	2.81	2.96
高校3年	28	74	41	17	2.71	2.83

【分析】12.と同様に中3の「4」評価人数が他学年に比べて低くなっている。

【対策】12.と同様に、学力と目標の間の差を感じ始めている中3の状況把握に努め、学習や進路目標を明確にするサポートに取り組んでいきたい。

14. 先生は生徒の学習意欲を引き出す努力をしている。(平均=2.93→2.73)

2023年度	4	3	2	1	平均	2022
中学1年	38	46	14	3	3.18	3.40
中学2年	26	58	29	7	2.86	2.78
中学3年	12	66	34	31	2.41	2.95
高校1年	26	80	39	17	2.71	2.98
高校2年	25	74	63	15	2.62	2.78
高校3年	22	65	57	16	2.58	2.66

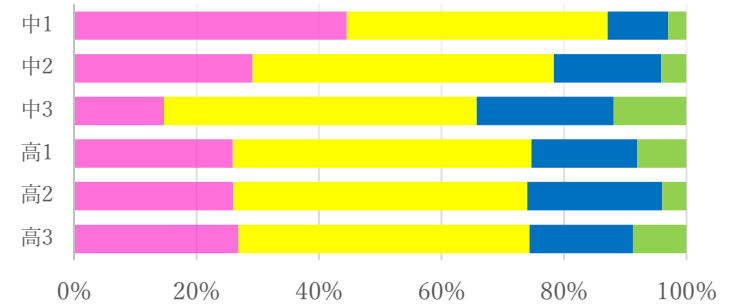


【分析】12. 13. と同様の結果が見られる。

【対策】教員側の姿勢が生徒の意欲促進に確実につながる方法をとるための、さらなる創意工夫が求められる。

15. 担任や教科担当は親身になって対応してくれる。(平均=3.16→2.97)

2023年度	4	3	2	1	平均	2022
中学1年	45	43	10	3	3.29	3.44
中学2年	35	59	21	5	3.03	2.95
中学3年	21	73	32	17	2.69	3.15
高校1年	42	79	28	13	2.93	3.23
高校2年	46	85	39	7	2.96	3.07
高校3年	43	76	27	14	2.93	3.13

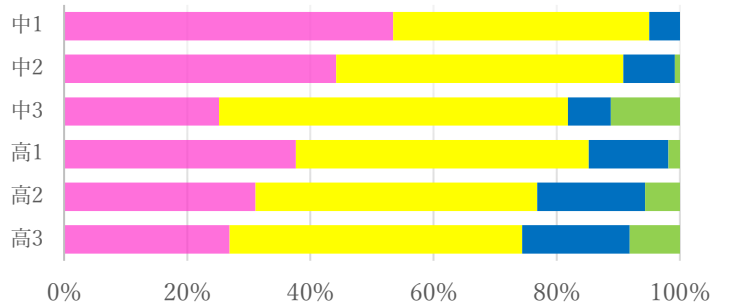


【分析】「4・3」の評価割合が昨年度と比較すると1割弱減少している。不安や迷いを多く抱える時期における中3・高1で「1」の評価が高い傾向にある。

【対策】生徒が相談や質問をしやすい環境・雰囲気作りを継続的に進める必要がある。同時に、多岐にわたる相談内容に備えるべく、教員研修を設け、対応力を養う体制も求められる。

16. あいさつやマナー等、基本的な生活習慣が身についている。(平均=3.19→3.16)

2023年度	4	3	2	1	平均	2022
中学1年	54	42	5	0	3.49	3.44
中学2年	53	56	10	1	3.34	3.32
中学3年	36	81	10	16	2.96	3.14
高校1年	61	77	21	3	3.21	3.10
高校2年	55	81	31	10	3.02	3.20
高校3年	43	76	28	13	2.93	2.92



【分析】全体的に大きな変化は見られない。

【対策】教職員の姿勢や態度が生徒の規範となることを、教職員間で繰り返し確認する必要がある。規定遵守はもちろん、ごみの捨て方、挨拶、マナー等の再確認が求められる。

17. この1年間で自分は成長できた。						(平均 = 3.03→2.98)	
2023年度	4	3	2	1	平均	2022	
中学1年	30	50	18	3	3.06	3.09	
中学2年	40	55	20	5	3.08	2.92	
中学3年	27	74	27	15	2.79	3.12	
高校1年	42	87	27	6	3.02	3.11	
高校2年	44	84	41	8	2.93	2.94	
高校3年	49	71	30	10	2.99	3.04	

【分析】全体に大きな変化は見られない。「2・1」の評価割合は昨年度から変わらず24%程度である。

【対策】目標との乖離で強く悩むことがないよう、自身を長期的に多面的に捉える姿勢を養う機会を設けることも必要である。

18. 中学：学校生活は楽しく充実している。						(中学平均 = 3.45→3.28)	
高校：この学校に入学してよかった。						(高校平均 = 3.14→3.00)	
2023年度	4	3	2	1	平均	2022	
中学1年	62	31	8	0	3.53	3.59	
中学2年	53	53	10	4	3.29	3.37	
中学3年	46	66	17	14	3.01	3.41	
高校1年	50	85	15	12	3.07	3.26	
高校2年	61	73	31	12	3.03	2.99	
高校3年	44	72	27	17	2.89	3.17	

【分析】概ね良好な評価であった。

【対策】生徒の学校生活での満足度について考える機会を設け、低い評価項目の改善を課題として共有し、学校生活と学習の向上を学校全体の目標に挙げる必要がある。

19. 現在、学習塾・予備校に通っていますか。											
2023年度	週3日以上	週2日まで	月数回程度	期間講習のみ	通っていない	2022年度	週3日以上	週2日まで	月数回程度	期間講習のみ	通っていない
中学1年	5	18	5	2	71	中学1年	17	36	4	1	77
中学2年	8	30	9	4	69	中学2年	11	41	14	1	90
中学3年	14	32	16	3	77	中学3年	7	38	4	0	67
高校1年	15	45	8	1	93	高校1年	15	46	8	4	68
高校2年	47	55	6	2	67	高校2年	34	47	8	2	48
高校3年	82	43	4	0	31	高校3年	90	32	5	2	22

【分析】昨年と同様に、学年が上がるにつれて塾・予備校に通学する生徒の増加傾向が見られる。高3で週3日以上通塾している割合は1割減少した。

【対策】高2高3になって通塾を始めた生徒の実態とそれにもなうスケジュールを理解した上での適切なアドバイスが求められる。進路指導を中心とした体制を学校全体で整え、生徒個々の夢の実現に向けたサポートを継続して取り組んでいく必要がある。

20. 平日、自主学習時間をあなたはどのくらいとっていますか。

2023年度	3時間以上	2~3時間	1~2時間	1時間未満	自習しない		2022年度	3時間以上	2~3時間	1~2時間	1時間未満	自習しない
中学1年	11	22	42	15	11		中学1年	18	39	60	16	2
中学2年	7	21	56	27	9		中学2年	14	30	64	40	9
中学3年	10	18	53	41	20		中学3年	4	24	40	39	9
高校1年	4	34	70	45	9		高校1年	4	41	64	22	10
高校2年	18	55	59	30	15		高校2年	23	47	51	8	9
高校3年	83	50	20	3	4		高校3年	89	37	15	4	6

【分析】「1時間未満・自習しない」割合が高い学年が、中3から高2に移行しており、昨年度（中2から高1）の傾向が改善されないまま現在に至っている。

【対策】限られた時間内に能動的なものごとに取り組むことの積み重ねを校内で行う。また、家庭での学習習慣を身につけるためには、生活習慣を含む家庭での環境作りも大きな役割を果たすことを、保護者に再確認してもらうことも必要である。